

篆 刻 研 究

篆刻研究

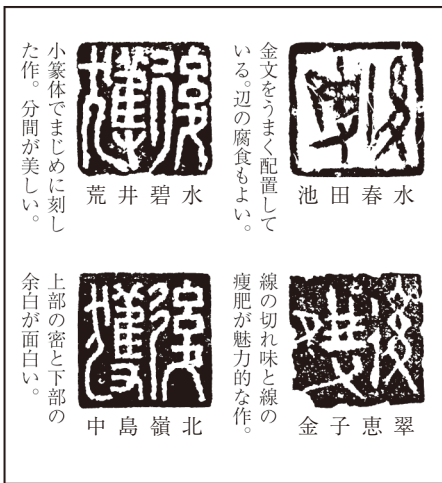
佐藤 焯 水

今月の課題は「不憂貧」とする。

今月の課題は論語の衛霊公編の「学也、禄在其中矣。君子憂道不憂貧」から転借した「不憂貧」とする。訓読は「学ぶや、禄 其の中に在り。君子は道を憂いて貧を憂えず。」で、意味は、「学問が身につけば、おのずから俸禄を受けることもできる。それ故に君子は、道の得られないことを心配すべきであり、貧賤を心配する理由はないといったところか……。

今月の課題「不憂貧」は多くの文人墨客が愛した言葉で、よく「遊印」として用いられる。秀作を期待する。

参考作品



池田春水

金子恵翠

金文をうまく配置している。辺の腐食もよい。

線の切れ味と線の瘦肥が魅力的な作。

小篆体でまじめに刻した作。分間が美しい。

上部の密と下部の余白が面白い。

【出品規定】 しめきり：三月十八日

- ① 印（印影）の大きさは3センチ以内（形は自由です。楕円・長方形等も可）
- ② 印影を白の半紙1/4に押し、右側に糸幅出品券を貼ってください。
- ③ 応募資格に特に制限はありません。
- ④ 課題文字以外の随意作品も出品できます。消しゴム印も可。